ふるさと納税の実施要綱について役場内での管理職会議、町議会の関係常任委員会での協議を省略している事態は改善をはかるべきではないでしょうか。

他管内よりも寄付は多額だが、事業目的の限定は検討したい

和田　良司　町長

答弁　ふるさと納税の実績は22件で1百10万5千円が納付済みで、8件45万円の申し出があり、他管内と比較すると多額となっております。管理職会議での議論の指摘ですが、住民課と総務課職員の8人で協議し、アワビの贈呈、航空券の贈呈などの要綱を定めており、これでよいと判断しました。今後の寄付の公募方法については目的を特定した方がよいのかどうかを含めて検討してみたい。

国保税の軽減策設定は町民に周知すべき

制野　征男　議員

質問　国保税の滞納額が6千2百万円近くになっており昨今の景気・経済実態からも滞納額が増加することが懸念されております。また、徴収率が2年連続で93％を下回っております。

再三にわたり、前年の所得よりも、大幅に減収になった場合の措置として、決定した税額の軽減・減免措置について求めたことで、平成3年に町が策定し、平成4年に広報で数行だけの記載で済ませたに過ぎません。詳細な軽減措置を町民に周知すべきではないか。

納税相談、軽減措置は申請が必要

和田　良司　町長

答弁　15人で滞納額6千2百万円の42％を占めているとの指摘を受けておりますが、15人のうち、不納欠損処分をした経緯があるのは3人です。平成3年に軽減措置を策定しており、平成4年5月に広報で掲載している実績があります。軽減措置については原則、本人からの申請が必要であり、滞納リストの15人から申請がされていないことから、該当するものではないと判断しております。

商工会発行のプレミア商品券には町は支援すべき

制野　征男　議員

質問　島内の経済はかつてないほど深刻な事態にあり、前年と比較して2～3割もの落ち込みで倒産のラインにあります。6月、12月のボーナス時期に他管内でおこなっているプレミア付の商品券の発行を商工会が行い現金を動かし、商店街の活性化と消費者への感謝の思いを込めて初めて実施したことへの評価と町の財政的な支援の意思について町の見解を求めたい。

活性化への一定の効果認められるなら支援を検討

和田　良司　町長

答弁　雇用実態、経済情勢から商工会が自らの企画でプレミア付商品券の発行を実施したことは評価したいと思います。今回の商工会における商品券の発行についての町への財政支援の要請はありませんでしたが、今後一定の効果が見込まれるならば、町の財政事情によって判断しなければなりませんが、支援要請があればその時点で判断したい。

政府の地域活性化交付金は島内の活性化に使うべき

制野　征男　議員

質問

地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金は12月4日までに政府に申請すべき交付金であったが、町は議会との協議もないままに申請しています。他市町村ではプレミア付商品券の差額分の負担、火災報知器、AED、学校耐震化など町民、議会と協議して使用目的を決めているが奥尻では一切それがなく、役場内での協議もないと聞いています。町は政府へどのような使用目的を持って申請しているのでしょうか。

航空機のキャンペーン、離島航空路の欠損負担などに申請

和田　良司　町長

答弁

12月議会に補正額として1千3百19万8千円を計上していますが、航空機の9月に実施した割引キャンペーン事業として1百43万4千円円、19年度の離島航空路の欠損負担分として5百69万4千円、福祉灯油分として1百5万円、住民税の電算システムとして7百35万円であります。また平成21年度に購入予定のバスの購入費として1千8百18万3千円を平成20年度の前倒しとして申請をしており、申請の総額は3千3百71万1千円円となっております。

平成20年第4回定例町議会は、12月16日に招集され、平成20年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算、「議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」等を審議し、いずれも可決され、同日閉会しました。

補正予算

補正の主な内容は、次のとおりです。

▽平成20年度一般会計補正予算（第5号）…原案可決

歳入歳出予算に6百50万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を、35億3千8百69万8千円としました。

〔歳入〕

国有提供施設等所在市町村助成交付金　2百40万円
地方特例交付金　51万6千円
国庫支出金　5百67万3千円
道支出金　△2万3千円
繰入金　△2百72万2千円
諸収入　65万7千円

〔歳出〕

総務費　8百83万9千円
民生費　4百37万9千円
衛生費　1百57万8千円
農林水産業費　25万4千円
商工費　2百48万2千円
土木費　△6百30万9千円
消防費　△4百50万3千円
教育費　△45万円
諸支出金　23万1千円

□平成20年度バス交通事業特別会計補正予算（第1号）……原案可決

職員手当等34万6千円など合計49万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を7千7百82万8千円としました。

□平成20年度自動車整備工場事業特別会計補正予算（第1号）……原案可決

公課費25万3千円など合計2百39万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を9千8百71万5千円としました。

□平成20年度あわび種苗育成センター事業特別会計補正予算（1号）…原案可決

光熱水費40万8千円など合計54万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を4千5百7万2千円としました。

□平成20年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）……原案可決

出産育児一時金73万円な